
令和5年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和5年3月3日

質問者（質問順）

- 1 鴨志田 啓 介 委 員 (自 民 党)
- 2 東 みちよ 委 員 (自 民 党)
- 3 山 浦 英 太 委 員 (立 憲 党)
- 4 尾 崎 太 委 員 (公 明 党)
- 5 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)
- 6 豊 田 有 希 委 員 (無 所 夕)

教 育 委 員 会 事 務 局

局 別 審 査

1 鴨志田 啓 介 委員（自民党）

1 ネットリテラシーの育成について

（１）学校の端末でのＳＮＳ利用について伺いたい。

（２）情報モラル教育のこれまでの取組について伺いたい。

（意見）ネットリテラシーの育成には、情報モラル教育とあわせて、新たに策定する第４期の教育振興基本計画でも掲げる情報活用能力の育成が、インターネット上の情報を正しく判断・理解することにつながり、大変重要である。

（３）情報活用能力育成のための取組について伺いたい。

（要望）子どもたちが、意図せず加害者となってしまうことのないよう、しっかりと情報活用能力育成に取り組んでいただくことを要望する。

2 学校教育における消費者教育について

（１）市立小・中学校における消費者教育について伺いたい。

（意見）高校段階では、在学中に成年を迎えることを考えると、より実践的な消費者教育が求められるのではないか。

（２）市立高校における消費者教育について伺いたい。

（３）学校教育における消費者教育の果たす役割は重要と考えるが、見解を伺いたい。

（４）金融教育の重要性に対する思いについて伺いたい。

3 子どもたちの体験活動の格差について

（１）市立小学校に対する文化芸術体験の事業内容について伺いたい。

（２）体験的な事業を実施する意義について伺いたい。

（要望）公教育において、全ての横浜の子ども達の本物体験の機会のさらなる充実を要望する。

4 子どもアドベンチャーカレッジについて

(1) 事業の見直し内容について伺いたい。

(2) 事業見直しの効果について伺いたい。

(3) 今後の事業の展望について伺いたい。

(意見) 子どもアドベンチャーカレッジをはじめ、今後も地域・社会全体で多様な体験学習の機会が子どもたちに提供されることを期待する。

5 持続可能な部活動の実現に向けた取組について

(1) プロジェクト設置の趣旨について伺いたい。

(2) 実践校での取組による効果について伺いたい。

(3) 今後の地域移行の方向性について伺いたい。

(要望) 部活動を取り巻く多様な主体の皆さまと、変化していく環境に対応しながら、横浜の部活動にとって適した地域移行に柔軟に対応していただくことを要望する。

6 教科分担制の推進について

(1) 取組の進捗や課題について伺いたい。

(意見) 先進的な取組の結果を広く全国に発信し、ますますこの取組を推進していくことが教員や子どもたちにとって大切である。

(2) 今後の教科分担制の取組の方向性について伺いたい。

(要望) 教員一人一人の働き方や評価にもつながるものであると考えるため、様々なデータの連携及び活用の推進を要望する。

7 通学路の安全対策について

(1) 市内で発生している小学生の交通事故の状況について伺いたい。

(2) 交通安全対策で活用する地図の内容について伺いたい。

(3) 教育委員会事務局と学校が交通安全対策を推進する上での意気込みについて伺いたい。

1 学校生活における給食時の会話と今後のマスクの取扱いについて

(1) 現在の学校における給食時の会話の状況について伺いたい。

(2) 全校でしっかりと黙食緩和を進めるとともに、学校現場で、また会話がしやすくなるような雰囲気づくりが大切と考えるが、見解を伺いたい。

(3) 学校生活上マスクを外しても良いということを指導していくことが大切と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 児童生徒一人一人の気持ちに寄り添い、マスク着用の有無を問わず、安心して、楽しく学校生活を送れるような雰囲気づくりを促すことを要望する。

2 給食における地産地消と今後の中学校給食について

(1) 小学校では地産地消の取組をどのように行っているのか伺いたい。

(2) 令和8年度からの全員給食に向けて、今後、中学校では地産地消の取組をどのように行っていくのか伺いたい。

(3) 全員給食への移行を円滑に行うためにも、令和5年度以降、段階的に喫食率を高め、全員給食に向けた機運を醸成していく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

(4) 温かさの工夫に向けた取組の検討状況について伺いたい。

(要望) 生徒から求められている温かい美味しい給食を実現するために、公平性という観点だけに縛られることなく柔軟に実施方式を再検討できる余地を残していただくことを要望する。

3 不登校児童生徒支援事業について

(1) 本市の不登校児童生徒数の推移について伺いたい。

(2) 不登校児童生徒数が急増している要因について伺いたい。

(3) 令和5年度はどのように支援の充実を図るのか伺いたい。

4 ヤングケアラーの支援と啓発について

(1) 教育委員会としての取組について伺いたい。

(2) 子どもへの周知や啓発にも積極的に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) ヤングケアラーに支援は必要だが、学校生活を続ける上では友達同士の心のつながりも大切である。学校での普及啓発を通して、インクルーシブな場の醸成にも期待する。

5 認知・非認知能力調査研究について

(1) 今年度の取組内容について伺いたい。

(2) 今年度の研究で明らかになってきたことについて伺いたい。

(3) 今後の認知・非認知能力調査研究の進め方について伺いたい。

(要望) コロナ禍で価値観が変わり、教育も変わる時だと考える。そうした中で、非認知能力の重要性について、学校現場での周知を進めることを要望する。

6 (仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業について

(1) サウンディング型市場調査の進捗状況について伺いたい。

(2) 保護者・自治会町内会等からの意見の整備計画への反映について伺いたい。

(意見) 次の世代を育てる新たな教育を進めるべきと考える。

(3) 豊岡小学校の建替えを契機とした次世代育成にふさわしい場所とするための取組について伺いたい。

1 教員の働き方改革について

（１）教員に命じることのできる超勤４項目の内容について伺いたい。

（２）教員の時間外の勤務の現状とその見解について伺いたい。

（意見）学校現場で出退勤管理を適正に行わないなどの行為が生じることが危惧されるため、適正な把握に努めていただきたい。

（３）教職調整額の支給水準に対する考え方について伺いたい。

（意見）自治体の努力の中で、教員の処遇改善を検討することも重要である。

（４）副校長の業務負担軽減のための取組について伺いたい。

（５）潜在教員の数の把握について伺いたい。

（６）教員確保のための取組について伺いたい。

（７）現在の働き方改革の取組について伺いたい。

（意見）本市が教員志望者に選ばれる都市になるには、学校現場の実態に即した実行力のある働き方改革を推進することが重要である。

（８）働き方改革のさらなる推進に向けた今後の取組について伺いたい。

（９）「子育てしたいまちヨコハマ」を実現するために、教員を魅力ある職業とすることへの意気込みについて伺いたい。

（要望）教育分野における課題については、市長・副市長も含めてしっかり共有しながら進めていただくことを要望する。

2 学校建替と児童急増対策について

（１）建替校の選定の考え方について伺いたい。

（意見）学校の建替えは地域にも大きな影響を与えることから、選定から地域への説明プロセスは重要である。

（２）建替校の選定から地域への説明までのプロセスについて伺いたい。

（３）設計や工事内容の地元への周知、意見聴取方法について伺いたい。

（４）児童数増に対処する一般的な施設対策について伺いたい。

（５）東戸塚小学校の児童数急増への対応について伺いたい。

- (6) 検討部会の概要とその役割について伺いたい。
- (7) 鶴見区の市場小学校を例に、検討部会が意思決定において非常に重要な役割を果たしていることについての認識を伺いたい。
- (8) 地域まちづくりの推進への配慮と学校の伝統やシンボルへの配慮について建替の基本方針で記載されている内容について伺いたい。
- (9) 東戸塚小学校の対応については、今後、地域・保護者などからしっかり意見を聴き、その意見を反映すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 子どもたちのより良い教育環境確保のため、地域や保護者からの意見を最大限尊重した学校づくりを進めることを要望する。
- (10) 過大規模校における教科分担制の効果について伺いたい。
- (11) 学年主任が学級担任を持たないことは可能なのか伺いたい。
- (意見) 教科分担制の取組は、非常勤講師などの教員配置を拡充したうえで、その良さを学校関係者だけではなく、保護者や地域の方々に周知していく必要がある。
- (12) 教科分担制の取組の保護者や地域への周知方法について伺いたい。
- (要望) 東戸塚小学校において、学校長、地域、保護者の声に耳を傾け、皆が喜ぶ校舎を建てていただくとともに、教科分担制の導入なども視野に入れ、柔軟に取り組んでいただくことを要望する。

1 子どもの発達障害について

- (1) 発達障害などがあり、特別支援教育の学びの場を利用する市立小中学校の児童生徒の3年間の推移について伺いたい。
- (2) 校種や学級種を問わず、全ての教職員が障害特性や必要な支援に関する理解を深めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 学校現場では、若い世代の教員の割合が増えていることから、教育委員会においては、教員が児童生徒に向き合う時間を確保できるよう、困り感や心配事に寄り添い支えていただくことを要望する。

2 不登校児童生徒への支援について

- (1) 不登校特例校とはどのようなものか伺いたい。
- (2) 校内ハートフル事業の概要とその狙いについて伺いたい。
- (3) 今後の不登校児童生徒への支援について伺いたい。
- (要望) 多様な児童生徒を誰一人取り残すことのないよう、誰もが安心して学べる環境を整えていただくことを要望する。

3 児童生徒のゲーム障害・ネット依存について

- (1) プロジェクトチームでの検討の結果について伺いたい。
- (2) 令和5年度に実施する取組について伺いたい。
- (要望) 子どもたちがゲーム障害、ネット依存とならないよう、学校、教育委員会、家庭の3者が協力して取組を推進していくことを要望する。

4 小学校マーチングバンドへの支援について

- (1) 令和4年度の小学校特設クラブの関東及び全国大会に出場する際の支援の状況について伺いたい。
- (2) マーチングバンドの地域移行を支える仕組みを検討するべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 効果的な支援の方法について、これまでの各校の伝統なども大事にしながら、検討を進めていただくことを要望する。

5 新しい横浜市学力・学習状況調査の活用や周知について

(1) 学校でのデータの活用や教員への周知の方法について伺いたい。

(2) 保護者や市民に伝える方法について伺いたい。

(要望) 良い取組であっても、受け止め方が異なると、効果的に使われないと考えるため、保護者など、市民に丁寧に情報発信していただくことを要望する。

6 中学校給食について

(1) 令和8年度からの全員給食のスタートに向けて、生徒や保護者が安心して給食を利用するためにも学校現場の理解を促進するべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 保護者向け試食会で寄せられている声について伺いたい。

(3) これまで以上に、市民に対して中学校給食を正しく広報していくことが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 全員制の中学校給食のスムーズなスタートに向けて、子どもたちに喜んでもらえる給食にさせていただくことを要望する。

7 ものづくりを支える人材育成について

(1) 横浜市立工業高校が再編された経緯について伺いたい。

(2) 横浜市におけるものづくりを支える人材の育成について伺いたい。

(要望) 新たな時代の要請に応え、産業界で活躍できる人材の育成に向けて、学校教育の果たす役割は大きいと考えるため、さらなる充実を要望する。

8 通学路の安全対策について

(1) 通学路の合同点検による対策必要箇所の改善の進捗状況について伺いたい。

(2) 学校における交通事故データの活用による児童生徒の安全確保について伺いたい。

(要望) 交通安全対策については教育委員会事務局としても、警察、土木事務所などの関係部署との連携を図り、各学校の対策が一層推進されるよう要望する。

9 新たな図書館像の策定について

(1) 新たな図書館像における、本の位置づけについて伺いたい。

(2) 新たな図書館像における、横浜市立図書館の強みの生かし方について伺いたい。

(要望) 新たな図書館像の策定のなかで、子どもたちをはじめとする市民が多くの本と出会い、その先に広がる世界を知ることができるよう、図書館の蔵書の質・量を充実できるような予算の確保、さらに身近な読書環境の整備を進めていただくことを要望する。

10 豊岡小学校の建替えを機とした複合施設整備について

(1) 街の中心部にある小学校建替えの基本的な考え方について伺いたい。

(意見) 本市の財政状況はさらに厳しくなることから、施設整備に際しては税金を投入しないなど思い切った整備手法なども含め、幅広く検討すべきである。

(2) 学校建替えを機に整備する複合施設を、地域の発展に資するよう民間活力を入れて整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 少子・高齢化対策や持続可能な地域発展のモデルとなるよう、従来の考え方にとらわれることなく、大胆に取り組んでいただくことを要望する。

11 給食調理室エアコン設置について

(1) 給食調理室の現状の認識と今後の取組について伺いたい。

(2) 空調整備はスピード感を持って取り組み、本市として職場環境を改善していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 暑い時期を無事故で乗り越えるためにも過酷な職場環境を早急に改善し、一日でも早い空調設置実現に取り組んでいただくよう、教育委員会の技術職スタッフの増強と行政の特段の配慮や取組を要望する。

1 教員の未配置問題について

- (1) 毎年、教員採用の募集を行う際、欠員を出さないように募集を行っているのか伺いたい。
 - (2) 欠員・未配置が学校現場に与える影響について伺いたい。
 - (3) 募集人数を決める際に欠員を無くそうとしていないために、採用・配置人数と乖離が出ているのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 様々な教育現場が大変な状況になっているという認識はないか伺いたい。
 - (5) 新学期のスタートにあたり教員採用試験をくぐり抜けていない方が多いことへの認識について伺いたい。
 - (6) 教員採用試験は何のために行うのか伺いたい。
 - (7) 毎年、臨時的任用職員ありきの体制というのは改善すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (8) 5月1日時点で配置すべき教員を全て常勤配置にすると、国から補助金は支払われないのか伺いたい。
 - (9) 正規職員を計画的に採用していくために、各教育委員会の中長期的な採用計画に正規職員の割合を定める目標値を各自治体で設定するよう国から要請されていることを受けて、本市はその目標を定めたのか伺いたい。
- (要望) 未配置を解消はもちろんのこと、正規職員にかえて臨時的任用職員という非正規で代替している状況は解消すべきであり、改善を要望する。

2 不登校問題について

- (1) 今実施されている教育委員会の施策で、不登校児童生徒は減っていくのか伺いたい。
- (2) 学校現場がどのようなことに困っているのか教育委員会として把握しているか伺いたい。
- (3) 学校が保護者と当該児童生徒と共有できる目標を作ってもらいたい。そのことを全ての不登校児童生徒に対して行ってもらいたいと考えるが、見解を伺い

たい。

(4) 増え続ける不登校児童生徒のため、今の施策の見直しが必要である。見直しをするためには不登校の原因分析を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 子ども及び教員が余裕をもって過ごせる環境を教育委員会として作っていただきたい。保護者との情報の共有がなされていないと考えるため、改善を要望する。

1 箕輪小学校の増築および類似事案への対応について

- (1) 開校から間もない箕輪小学校が増築へと至った経緯について伺いたい。
 - (2) 増築工事期間中及び供用後のスペース面での環境維持方策について伺いたい。
 - (3) 増築工事期間中及び供用後の設備、運用面等での環境向上方策について伺いたい。
 - (4) 給食室改修工事期間中の給食の代替措置について伺いたい。
 - (5) 菊名小学校の建替えに向けた対応について伺いたい。
 - (6) 児童・生徒数の推計方法は見直したのか。今後見直すのかについて伺いたい。
 - (7) 今後も想定される類似ケースへの対応方針について伺いたい。
 - (8) 分教室やサテライトキャンパス等の活用の検討について伺いたい。
- (意見) 環境を維持していく全体の政策との整合をとっていくということだが、にぎわいと教育のどちらを優先すべきか、行政としては教育が優先されなければいけない。

2 市立中学校におけるデリバリー給食の原則化について

- (1) 「原則として全員に、同じ物を、同時期に」との方針の根拠及び関係法令の記載について伺いたい。
- (2) 「原則として全員に、同じ物を、同時期に」を前提とする発信は見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 親子方式等で実施できる学校があるのであれば、実施すればよいのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) デリバリー給食しか実施できない学校は、準備ができるまで、デリバリー給食を実施すればよいのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) デリバリー原則化後の義務教育学校での対応方針について伺いたい。
- (6) 早期にできる学校から実施することが学校給食法の趣旨に沿った対応であり、デリバリー方式を含めた全体でのミックスで中学生に給食を提供していくべきと考えるが、見解を伺いたい。